

# 手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、間伐を行った事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐、被害木の伐倒整理等を行った。

## 今後の展開

・間伐後の人工林に対して、継続的に適切な管理を行う必要がある。

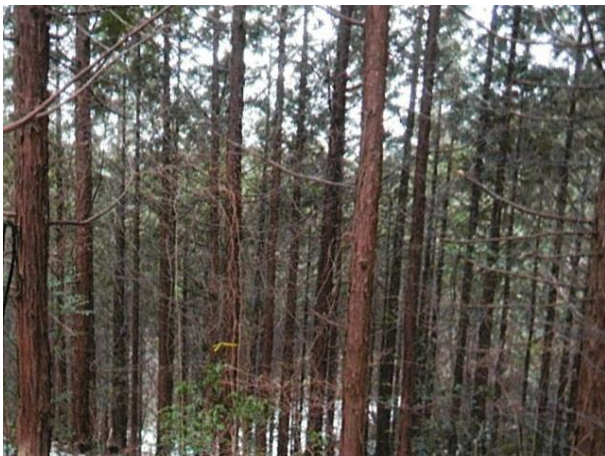
## 取組の内容

- ・事業主体：林業事業体2団体
- ・実施場所：広島市内一円
- ・実施量：104.41ha
- ・事業金額：48,169千円
- ・実施期間：令和4年9月5日～令和5年3月19日

## 取組後の感想

・手入れがなされず放置された人工林の間伐を行うことができた。

【整備前】



【整備後】



# 町内会等が里山林の整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型、鳥獣被害防止型）

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・手入れ不十分な農山村地域や都市近郊の里山林等について、生活環境及び自然景観の保全を図るため、土砂災害防止及び生物多様性の保全、鳥獣被害防止、自然とのふれあい等を目的とした森林整備を町内会等が主体となって行った。

## 今後の展開

・普及啓発を行い事業実施個所を増やすことで、地域住民の森林への関心を深める。  
・里山林の整備を行ったことで、町内会等による森林の管理を行うことが出来るようになる。

## 取組の内容

- ・事業主体：町内会等19団体
- ・実施場所：広島市内一円
- ・業務委託先：林業事業体
- ・実施量：8.63ha
- ・業務金額：9,828千円
- ・業務期間：令和4年10月5日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

・里山林整備を行うことで全体に明るくなり、これまでの圧迫感が少なくなった、イノシシやサルなどの隠れる場所が減ったために、出没が減少したなどの住民からの感想があった。  
・事業に取り組んでいない町内会等から近くの里山林整備の状況を見てこれから取り組みたいなどの相談がある。

【整備前】



【整備後】



# 森林に関する知識や林業技術を習得し、市民団体を牽引する役割を果たす人材を育成する事例

事業名：特認事業（森林・林業体験活動支援事業）

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林の持つ多様な機能に対する市民の関心が高まっていることから、森林づくりの活動へ都市部の住民が自発的に参加する動機付けと、それぞれの立場で参加できる機会を提供し、森林・林業に関する認識を深める。

## 今後の展開

・本事業の実施により、市民が森林整備に関する知識・技術を習得することで、森林整備が進むだけでなく、森林・林業に対する意識の改革が期待できる。

## 取組の内容

- ・事業主体：市民参加の森林づくり実行委員会
- ・対象者：広島広域都市圏在住の住民
- ・受講者数：30人
- ・事業金額：1,068千円
- ・実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

- ・下刈、間伐等の実技について初めて行い、目的・方法等を丁寧に教えてもらえてよかったなどの感想があった。
- ・森林整備の知識と技術に触れるだけでなく、これから森林ボランティアとしての活躍が期待される。

【活動の様子(間伐)】



【活動の様子(里山整備)】



# 森林所有者や地域住民が行う、自ら行う「自伐林業」のための講習会を行った事例

事業名：特認事業（森林・林業体験活動支援事業）

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林所有者や地域住民が行う、森林内に放置された未利用材の利活用に関する取組を支援することにより、森林所有者の「自分たちの山は自分たちで守る」という管理意識の高揚を図り、適切な森林管理を促進する。

## 今後の展開

・本事業の実施により、未利用材が木質バイオマス燃料として有効活用される体制が整備されるほか、健全な森林の保全や雇用の創出などが期待できる。

## 取組の内容

- ・事業主体：広島市
- ・対象者：広島広域都市圏在住の住民
- ・受講者数：103人
- ・事業金額：805千円
- ・実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

- ・伐倒経験のある者とない者に分けて講習を行うことで、それぞれのレベルにあった講習を実施できている。
- ・伐倒経験のある受講者であっても、改めてチェーンソーの使い方を講習することで、安全第一に作業を行うことを再認識したなどの感想があった。

### 【活動の様子】

ロープウインチによる間伐・搬出講習会



### 【活動の様子】

バックホウによる自伐林業講習会



# 「森の達人」研修会を開催した事例

事業名：森林・林業体験活動支援

市町名：呉市

## 取組のきっかけ・経緯

・多様な主体が里山整備を安全に行えるよう、森林整備の基本知識と道具の使い方の講習会を開いた。

## 今後の展開

・森林ボランティア等の森づくり活動参加へつながるよう、研修を継続していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：呉市
- ・実施場所：グリーンヒル郷原
- ・業務委託先：一般社団法人 広島県森林協会
- ・業務量：1日（講師2人、参加者16人）  
（座学）森林整備に必要な基本知識について  
（実習）刈り払い機、チェーンソーの実演、スウェーデントーチ製作
- ・業務金額：462千円
- ・業務実施期間：令和4年10月25日～12月28日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・チェーンソーの安全な使い方、点検方法等に関する総合的な安全操作を行い理解を深めた。
- ・実習のスウェーデントーチの製作は好評であった。

### 【研修(座学)の様子】



### 【研修(実習)の様子】



# 小学校における出前森林教室を実施した事例

事業名：森林・林業体験活動支援

市町名：呉市

## 取組のきっかけ・経緯

・校庭内の身近な樹木や自然を対象に、クイズラリー形式で楽しく学び、自然や森林に興味を持たせる。

## 今後の展開

・ほかの学校へ展開していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：呉市
- ・実施場所：呉市立音戸小学校
- ・業務委託先：一般社団法人 広島県森林協会
- ・参加者数：小学4年生7名
- ・業務金額：107千円
- ・業務期間：令和4年6月7日～9月30日

## 取組後の感想

【良かった点】

・校内の樹木をクイズ形式で理解を深めた。

【出前森林教室の様子】



【出前森林教室の様子】



# 防災・減災を目的とした森林整備を実施した事例

事業名：里山林整備事業（防災・減災型）

市町名：竹原市

## 取組のきっかけ・経緯

・竹原市では市民の防災・減災への意識が非常に高く、地元からの要望が多いことから取り組むこととした。

## 今後の展開

・来年度以降も引き続き、地元要望等に基づき、森林組合等と連携し活動していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・実施場所：西野町他
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.28ha
- ・業務金額：2,629千円
- ・業務期間：令和5年1月～3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・地元の要望に応えることができ、かつ市内の防災・減災に努めることができた。

【整備前】



【整備後】



# 有害鳥獣被害防止のためのバッファゾーン整備 事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型） 市町名：竹原市

## 取組のきっかけ・経緯

・市民からの要望が多いことから取り組むこととした。

## 今後の展開

・来年度以降も引き続き、地元要望等に基づき、森林組合等と連携し活動していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・実施場所：田万里町他
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.26ha
- ・業務金額：1,543千円
- ・業務期間：令和4年12月～令和5年3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・地元の要望に応えることができ、かつ市内の有害鳥獣被害防止に努めることができた。

【整備前】



【整備後】





# 市内小学校で森林に係る体験活動を実施した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：竹原市

## 取組のきっかけ・経緯

・広島県産材の利用促進や、森林を守り育てる担い手の育成促進の一環として、小学校で作りたい物の要望を聞いて、広島県産材で作成された製品の組み立てを小学生に行ってもらった体験授業を実施した。

## 今後の展開

・来年度以降も体験活動を継続し、子どもたちから森林についての理解を深めていき、森林の大切さを感じてもらえるようにしていきたい。

## 取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・実施場所：市内の各小学校及び学園
- ・業務委託先：太田川森林組合
- ・制作物：パンフレットラック6台  
移動式掲示板3台  
本棚5台  
丸椅子8台  
プランターカバー6台
- ・業務金額：1,980千円
- ・業務期間：令和5年1月～2月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・子どもたちが木に触れ合い、楽しそうに組み立てを行っていた。初めて使うインパクトドライバーや釘打ち作業に夢中になる姿は昨今の自然に触れ合うことの少なくなった時代にはとても新鮮な姿であり、子どもたちからも「山について興味を持った。広島県産材の良さを知れた。」等の声が上がっていた。各学校においても、過去に制作したものを備品として大切に使用していただいていた。

### 【活動の様子】



### 【活動の様子】



# 手入れが不十分な人工林の整備を行った事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：三原市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、手入れが不十分な人工林について所有者と協議を行い、間伐を実施した。

## 今後の展開

・近年の豪雨災害の状況からも、手入れが不十分となっている人工林の整備を進める。  
・今後も森林組合を通して森林所有者へ事業の利用を呼びかける。

## 取組の内容

- ・事業主体：三原市
- ・実施場所：三原市小坂町ほか
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：2.86ha
- ・業務金額：1,212千円
- ・業務期間：令和5年3月1日～3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・間伐することにより人工林内の下層植生が生育し、森林の公益的機能を備えた人工林への育成が期待される。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 雑木伐採によりの名所の景観を保全した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：三原市

## 取組のきっかけ・経緯

・雑木を伐採した白滝山頂の龍泉寺八畳岩からは360°のパノラマが広がり、多くの登山客などが訪れる観光名所となっている。一部、雑木などが茂っており、山頂からの眺望が悪化していたため、地域住民から整備の要望が出されていた。

## 今後の展開

・観光名所や公共施設など人目につく箇所を行うことにより、事業周知などに期待がもてるため、箇所選定を関係機関と協議し検討する。  
・広報誌やホームページなどを利用し、市民へ広く周知して事業を進めていきたい。

## 取組の内容

- ・事業主体：三原市
- ・実施場所：白滝山
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：2.03ha
- ・業務金額：5,547千円
- ・業務期間：令和5年1月25日～3月31日

## 取組後の感想

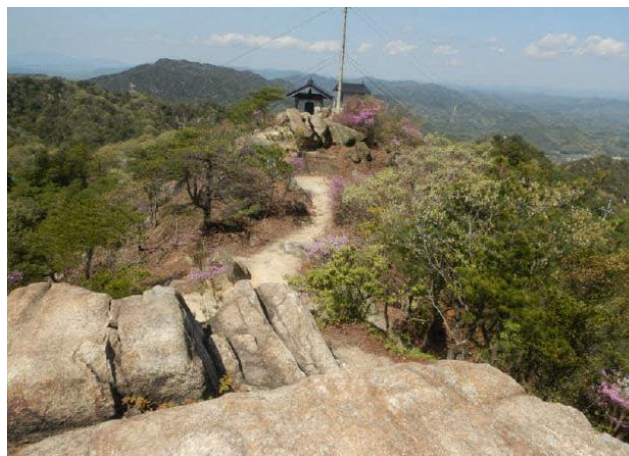
### 【良かった点】

・観光名所であり整備を行うことで人目につくため、事業の周知できた。山頂からの眺望が良くなった。登山歩道についても除伐整理し、景観が良くなった。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 手入れがされていない人工林の整備により公益的機能の発揮を促した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：尾道市

## 取組のきっかけ・経緯

・手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐、被害木の伐倒整理等を行った。

## 今後の展開

・引き続き人工林健全化事業（過去15年間（保安林等については10年間）に一度も森林整備が行われていない人工林）を対象に整備を行う。

## 取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町津蟹・大蔵
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：2.05ha
- ・業務金額：931千円
- ・業務期間：令和5年3月6日～3月30日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・対象森林の水源涵養機能、土砂災害防止機能及び生物多様性保全等の公益的機能を回復し、継続的に発揮できるようになった。

【整備前】



【整備後】



# イノシシの隠れ場所をなくし、被害を防ぐための森林整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：尾道市

## 取組のきっかけ・経緯

・イノシシが頻繁に出没する地域において、周囲山林の刈込を行い、イノシシ等が生活圏に近づきにくい環境を整えることを目的に整備した。

## 今後の展開

・今回除伐を行った範囲において森林所有者等による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

## 取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町高尾
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：地拵え0.68ha  
枯損木等伐採0.47ha
- ・業務金額：3,804千円
- ・業務期間：令和5年2月21日～3月17日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・手入れの行き届かない森林等を整備したことで、イノシシが隠れやすい場所が一掃されたため、鳥獣被害予防効果が期待できる。

【整備前】



【整備後】



# 地域の象徴となる山を住民の手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・潮音山は旧瀬戸田町を象徴する山として住民に親しまれており、地域住民による維持管理も継続して行われていた。
- ・しかし、近年は住民の手では整備しきれない場所も増えたため、特認事業による整備と体制の強化が要望された。

## 今後の展開

- ・潮音山公園を愛する会を中心に、今回整備した器具類を活用して地域住民による維持管理を引き続き実施し、継続的な活動として発展させる。

## 取組の内容

- ・事業主体：潮音山公園を愛する会
- ・実施場所：潮音山（尾道市瀬戸田町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：森林整備 1.20ha  
森林整備活動 3回  
利用促進施設整備 一式
- ・業務金額：3,600千円
- ・業務期間：令和4年11月24日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・国宝三重塔周辺の森林整備を行うことで、島の各所から三重塔を望む景観を取り戻すことができた。
- ・木製のテーブルとベンチを設置したことで、訪問者の利便性が向上した。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 日本遺産の山を住民の手で整備した事例

## 事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

### 市町名：尾道市

#### 取組のきっかけ・経緯

・白滝山は、日本遺産を構成する史跡に選ばれる等地域の象徴として住民に親しまれ、長年住民による保全活動が行われていたが、整備に必要な機械類の老朽化や住民では整備できない箇所が増加したため、特認事業による整備が要望された。

#### 今後の展開

・今回整備したチェーンソーをはじめとする備品を活用し、住民による森林整備を行う。  
・森づくり事業の取組により高まった、住民の参加意識をさらに向上させながら、継続的な活動として発展させる。

#### 取組の内容

- ・事業主体：白滝山保全活用実行委員会
- ・実施場所：白滝山（尾道市因島重井町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合  
高松建設(株)
- ・業務量：森林整備 0.65ha  
路網整備（手すり設置）  
森林整備活動9回・講習会等2回  
備品等整備 一式  
事業の写真展の開催
- ・業務金額：7,000千円
- ・業務期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・登山道に被さっている支障木を除伐し、景観を保全することができた。
- ・訪問者から強く要望されていた手すりを設置したことで、安全で訪問しやすい環境づくりを推進できた。
- ・森づくり事業の出前授業や写真展を実施したことで、事業の必要性や取組を周知することができた。

##### 【整備前】



##### 【整備後】



# 人工林間伐により下草の生える環境を整えた事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：福山市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林所有者から、手入れができず放置された森林の整備について相談を受け、本事業を実施することとなった。

## 今後の展開

・公益的機能を持続的に発揮するために継続して森林管理を行う必要がある。

## 取組の内容

- ・事業主体：福山市
- ・実施場所：福山市新市町他
- ・業務委託先：広島県東部森林組合
- ・業務量：2.92ha
- ・業務金額：1,097千円
- ・業務期間：令和5年3月9日～3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・手入れがなされず放置された森林を整備し、下層植生を回復させる環境づくりを行うことができた。

【整備前】



【整備後】





# 遊歩道周辺の整備と景観伐採を行った事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：福山市

## 取組のきっかけ・経緯

・地域から、危険木伐採や景観改善のための森林整備を実施し、地域資源として活用したいとの要望があった。

## 今後の展開

・地域住民による整備を続け、地域の憩いの場として活用を続ける。

## 取組の内容

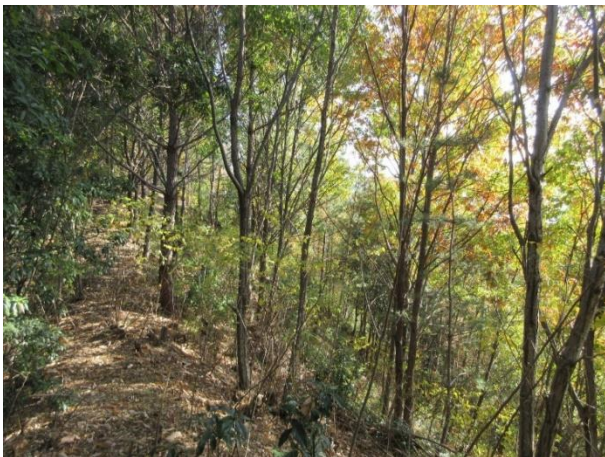
- ・事業主体：広島県東部森林組合
- ・実施場所：福山市新市町
- ・実施量：1.96ha
- ・実施金額：8,733千円
- ・実施期間：令和5年2月13日～3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・遊歩道周辺の整備を行ったことで、子どもや高齢者でも登りやすくなり、地域全体で活用できるようになった。
- ・整備により、景観がよくなり、眺望を楽しむことができるようになった。

【整備前】



【整備後】



# 鳥獣被害防止対策として森林整備を行った事例

## 事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

### 市町名：府中市

#### 取組のきっかけ・経緯

- ・本市では、野生鳥獣による農作物被害を防止するため、計画的に森林整備を行うこととしている。
- ・前年度までの整備事業により効果が出てきているので、新たに国留地区において整備を行った。

#### 今後の展開

- ・計画的に整備を行っているので、引き続き小堀地区、国留地区のバッファゾーンの整備を行う。

#### 取組の内容

- ・事業主体：府中市
- ・実施場所：府中市上下町小堀、国留
- ・業務委託先：甲奴郡森林組合
- ・業務量：1.97ha
- ・業務金額：6,952千円
- ・業務期間：令和5年1月20日～3月31日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・地域全体の取組、バッファゾーンの整備により、イノシシによる農作物被害が減少した。

【整備前】



【整備後】



# 高校生が木製遊具等を制作し児童施設へ寄贈した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：府中市

## 取組のきっかけ・経緯

・府中東高等学校の生徒が、広島県産材を使用して、市内児童施設等の備品や遊具を要望に応じてデザイン、制作、設置まですべて行った。

## 今後の展開

・市内児童施設等から好評で毎年要望があるため、継続して実施する。

## 取組の内容

- ・事業主体：府中市
- ・実施場所：府中市土生町399-1
- ・業務委託者：県立府中東高等学校
- ・業務金額：700千円
- ・業務期間：令和4年5月2日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・制作した県立府中東高等学校の生徒が、幼少児童のために役立っていると実感し、就学・就職意欲を強く抱くことができた。
- ・県産材(間伐材)を使用することで、森林の機能や林業について理解を深めることができた。

### 【活動の様子】



### 【制作物の例】



# 公益的機能の持続的な発揮のため、手入れされず放置され、緊急に整備が必要な人工林を間伐した事例

事業名：環境貢献林整備事業  
市町名：三次市

## 取組のきっかけ・経緯

・手入れがされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、管内森林組合に調査を委託し、調査結果に基づき施業地を取りまとめ、事業を実施した。

## 今後の展開

・森林所有者の中に、事業について把握されていない方や不在所有者が多く、事業の取りまとめに時間を要しているため、今後も市広報誌等を活用し、広く周知していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：三次市
- ・実施場所：三次市内
- ・業務委託先：三次地方森林組合  
甲奴郡森林組合
- ・業務量：75.44ha
- ・業務金額：35,111千円
- ・業務期間：令和4年9月16日～令和5年3月28日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・間伐を行ったことで、林内の下層植生が回復し、水源涵養や土砂流出防止等公益的機能の発揮が期待できる。

### 【悪かった点】

・事業について把握されていない方や不在所有者が多く、取りまとめに時間を要した事業地があった。

【整備前】



【整備後】



# 竹林整備と担い手となるボランティアを育成した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：三次市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・竹林が利用されなくなる中で、放置竹林が拡大し、周辺農地がイノシシによる被害を受ける要因となっている。
- ・そのため、竹林整備ボランティアの育成プロジェクトを立ち上げ、竹林整備活動と竹チップの農業利用等による竹林を資源として生かす活動を始めた。

## 今後の展開

- ・竹林整備のためのチェーンソー講習会、竹林内の植生調査、竹林整備活動等のワークショップを継続する。
- ・この活動が広がることで、放置竹林の解消、イノシシ被害の低減、竹林資源の有効活用が期待できる。

## 取組の内容

- ・事業主体：特定非営利活動法人  
伊賀和志江の川鐵道
- ・実施場所：三次市作木町伊賀和志地区
- ・活動内容：竹林整備活動5回  
(0.5ha、参加者25人)  
竹林植生調査1回(参加者5人)
- ・事業金額：255千円
- ・実施期間：令和4年8月29日～令和5年3月20日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・地元住民からイノシシの出没が減少したと活動を評価する声が出ています。
- ・他地域の竹林でも自主的な活動が始まっている。
- ・竹チップの農業利用が年々増加している。

### 【悪かった点】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、少人数の参加となった。

### 【活動の様子】

チェーンソーによる竹林の整備活動



### 【活動の様子】

チップパーによる竹チップの生産



# 手入れ不足の人工林を間伐により整備した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：庄原市

## 取組のきっかけ・経緯

・当森林組合の施業履歴から、こしばらく手入れをしていない森林を洗い出し、現地調査を行った結果、間伐が必要な森林が見つかった。  
所有者と話し合いを進めた結果、当事業による施業を行うこととなった。

## 今後の展開

・今回の間伐で不良木の間引きはほぼ完了した。次回は収入間伐を行い、山林所有者に収益を得てもらう。  
・該当森林までの路網はあるが、整備が必要であり、山林内の作業道も新設する必要がある。  
・該当森林は水源涵養保安林であり、周辺にはほかにも同様の人工林が多くある。それらと共に広域での森林整備を行っていき、保安林としての機能も高めていく。

## 取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町内堀
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：14.71ha
- ・業務金額：7,059千円
- ・業務期間：令和5年2月7日～3月6日

### 【整備前】



### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・施業後は適切に光が射し込む状態になっており、残存木の更なる生育と水源涵養機能の向上、または下層植生の繁茂による土砂流出防備効果も期待できる。

### 【悪かった点】

・降雪の多い地域であり、残存木が強靱になるまでの間に風雪害(倒木)が心配される。

### 【整備の様子】



# 害獣の潜み場所であり、住宅へ傾倒する竹林を整備した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：庄原市

## 取組のきっかけ・経緯

・住宅へ裏山の竹が倒れてきて困っていると相談があった。話を聞くと、家の横の畑に獣が進入して困っているともいう。当事業を提案し、施業に至った。

## 今後の展開

・丁寧な棚積みができたので所有者による手入れがし易く、竹の子や灌木を切除し維持管理していく。  
・山の裏側へも竹林が繁茂していきっており、引き続き一帯的な整備を行っていく。

## 取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町栗田
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：0.60ha
- ・業務金額：1,104千円
- ・業務期間：令和5年1月18日～3月20日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・県道に面しており、景観改善による視覚効果が大変高かった。そのことにより、事業地を目にした第三者からの問い合わせが複数あった。  
・所有者によると、畑への獣害や周辺の糞害が減ったとのこと。  
・竹林の中に古い無縁墓があり、お参りすることができた。

### 【悪かった点】

・直径20cmを超える大きな孟宗竹が多く、牽引しながらの作業となり大変な手間を要した。  
・急傾斜地であり、また電線や住宅も近く、災害や物損のリスクが高かった。

【整備前】



【整備後】



# 放置森林を整備し見通しの良い環境に変えた事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：大竹市

## 取組のきっかけ・経緯

・ひろしまの森づくり事業に係る市協議会において、要望が出されたことから、実施した。

## 今後の展開

・周囲には依然としてうっそうとした森林が残っているため、市広報等を活用し、事業の周知を図る。

## 取組の内容

- ・事業主体：大竹市
- ・実施場所：廿日市市大野字横撫
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：0.6ha
- ・業務金額：904千円
- ・業務期間：令和4年12月22日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・実施場所において適切に伐採が行われた結果、日照、風通し等の環境が良好なものとなった。

### 【整備前】



### 【整備後】





# 放置森林を整備し見通しの良い環境に変えた事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：大竹市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林所有者から要望書が出されたことから、実施した。

## 今後の展開

・周囲には依然としてうっそうとした森林が残っているため、市広報等を活用し、事業の周知を図る。

## 取組の内容

- ・事業主体：大竹市
- ・実施場所：大竹市玖波五丁目1033番
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：0.16ha
- ・業務金額：2,996千円
- ・業務期間：令和4年12月22日～令和5年3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・実施場所において適切に伐採が行われた結果、日照、風通し等の環境が良好なものとなった。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 鳥獣被害防止のためバッファゾーン整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：東広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・シカ・イノシシによる農業被害を防止するため、鳥獣の隠れ場所をなくすための森林整備を実施した。

## 今後の展開

・単年度の市町事業による委託での整備量、効果は限界があるため、地域での自主的なバッファゾーン整備を推進するとともに、効果的な方法について検討する。

## 取組の内容

- ・事業主体：賀茂地方森林組合  
（地域の要望を取りまとめて実施）
- ・実施場所：高屋町、福富町、豊栄町、河内町
- ・実施量：4.71ha
- ・事業金額：9,545千円
- ・実施期間：令和5年3月1日～3月24日

### 【整備前】



### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・事業実施地においてはバッファゾーン整備ができ、また、景観が向上した。

### 【悪かった点】

・林業事業体への委託のみでの事業実施では整備量・効果に限界がある。

### 【整備の様子】



# 自主的な森林管理の推進に加え、家族参加型のイベント等の開催により森林活動の関係人口を増やした事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：東広島市

## 取組のきっかけ・経緯

・里山の模範的な景観を復活させ、地域社会に寄与することを目的として実施した。

## 今後の展開

次の活動を予定している。

- ①森林整備
- ②人財育成
- ③山林資源の創出と利活用
- ④森林、林業体験イベントの実施

## 取組の内容

- ・事業主体：もりびと
- ・実施場所：東広島市豊栄町吉原
- ・実施量：活動参加者78人
  - ①里山林の整備(除伐、雑草木の刈払)
  - ②環境調査や野鳥の観測
  - ③地域の子どもたちの薪割り体験
  - ④搬出した原木での椎茸の植菌体験
- ・事業金額：1,717千円
- ・実施期間：令和4年6月28日～令和5年3月19日

### 【整備前】



### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・森林機能及び地域環境の向上に寄与し、里山の保全活用につなげることができた。
- ・森林整備やイベント・ワークショップの開催を継続するとともに、人材育成や資源としての利活用を通じて市民参加型の森づくりを推進していきたい。

### 【活動の様子】



# 里山林整備により環境が改善した事例

## 事業名：里山林整備事業（環境改善型）

### 市町名：廿日市市

#### 取組のきっかけ・経緯

・手入れ不足により荒廃し、環境が悪化している民家付近の里山林について、地元住民から整備の要望があったため、整備費用に対する補助を行った。

#### 今後の展開

・別の地区において地元住民からの要望があった際は、整備費用についての補助を継続していく。  
・整備を終えた里山林については、地元住民主体で、草刈りや除伐等の維持管理が行えるよう体制を整える。

#### 取組の内容

- ・事業主体：原地区市有林管理委員会
- ・実施場所：廿日市市原中小路
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：1.37ha
- ・業務金額：2,054千円
- ・業務期間：令和5年2月20日～3月4日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

・手入れ不足の里山を整備することで、環境の改善に繋がった。  
・里山の環境を地域全体で向上させるための取り掛かりとなった。

##### 【悪かった点】

・今後も環境を保つためには、定期的な下刈りや除伐など、地元住民による自発的な維持管理を継続する必要がある。

##### 【整備後】



##### 【整備後】



# 里山林の整備を通し、子どもたちに自然と共生する楽しさを伝えた事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：廿日市市

## 取組のきっかけ・経緯

・廿日市市内の団体から、子ども達を対象に、環境や生き物への関心を高め、自然とともに生きる楽しさや工夫が身につけられるような活動体験を行いたいとの要望があったため、活動に対して補助を行った。

## 今後の展開

・これまでの活動の様子をイベントや広報媒体で広く発信し、より多くの人に、廿日市市の自然環境や、森林での活動に興味をもってもらえるよう啓発していきたい。

## 取組の内容

- ・事業主体：みやうち冒険あそび場の会
- ・実施場所：廿日市市宮内字高通  
(花見山森のあそび場)
- ・実施量：活動回数 9回  
参加者数 217名
- ・実施内容：里山林整備体験(伐採・植樹)  
環境学習
- ・実施金費：492千円
- ・実施期間：令和4年4月29日～令和5年3月15日

## 取組後の感想

- ・木、山、森、里山の環境や生き物への関心を高め、ふるさとの自然に親しみを感じ、ふるさとの自然とともに生きる楽しさや工夫を身につけることができた。
- ・自然の中で遊ぶという体験を通して、自然環境が維持され、荒れた山が里山化していく実証を重ねることができた。
- ・植樹の体験を行い、人間が利用する里山としての環境について体験的に学ぶことができた。

【活動の様子】



【活動の様子】



# 人工林健全化のため森林整備を行った事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

・安芸北森林組合から人工林健全化の補助申請が提出され採択を行い、市内3箇所を実施した。

## 今後の展開

・今後も同様の事業を展開する予定。  
・安芸北森林組合に手付かずの人工林の候補地についてお願いしている。

## 取組の内容

- ・事業主体：安芸高田市
- ・実施場所：安芸高田市向原町坂  
安芸高田市八千代町下根  
安芸高田市甲田町上小原
- ・業務委託先：安芸北森林組合
- ・業務量：3.52ha
- ・業務金額：1,412千円
- ・業務期間：令和5年2月11日～2月28日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・人工林健全化事業を行い、健全化が図られた。

### 【今後の課題】

・土地の所有者が代替わりしており、現所有者の特定や調整が困難になってきている。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 鳥獣被害の軽減のため森林を整備した事例

## 事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

### 市町名：安芸高田市

#### 取組のきっかけ・経緯

- ・シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げ、鳥獣被害が拡大している。
- ・里山を利用することがなくなり、また、不在地主も増え、高齢化も進み里山を管理できない状況にある。

#### 今後の展開

- ・地域住民が主体的に維持管理ができるような里山林を目指す。
- ・シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げつつあることから、生物多様性の保全や野生生物との棲み分けがされるなど、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し、野生動物との共生を目指す。

#### 取組の内容

- ・事業主体：安芸高田市
- ・実施場所：安芸高田市内
- ・業務委託先：安芸北森林組合  
株式会社リビングファーム広島
- ・業務量：19.44ha
- ・業務金額：24,418千円
- ・業務期間：令和4年11月10日～令和5年3月22日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・バッファゾーンの整備によってシカやイノシシの潜み場所がなくなり、シカやイノシシの出没、農作物被害が減少した。

##### 【今後の課題】

- ・住宅裏等で放置された天然林が大きくなりすぎて、簡単に伐採することができない。
- ・シカやイノシシなどによる鳥獣被害が拡大しているため、野生動物との共生を目指した里山林整備が課題となっている。

##### 【整備後】



##### 【整備後】



# 中学校と連携しミツマタ植樹を行った事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・ミツマタは和紙(特に紙幣用紙)の原料として、古くから栽培されてきた。しかし、最近では大量生産が容易な西洋紙に市場を奪われ減少傾向を続けている。そこで、我が国固有の良質な製紙原料であるミツマタの生産を復活させる植樹を行うこととした。
- ・この活動を通じて郷土を思い、夢を育み、向上する人づくりを目指す。

## 今後の展開

- ・元気な森を次世代に残していくため、二ホンジカの食害にあわない樹種であるミツマタを中心に、地元中学校と連携し毎年植栽を行い、広島県最大の一大群落を目指して計画を進める。

## 取組の内容

- ・事業主体：甲田町資源を守る会
- ・実施場所：安芸高田市甲田町
- ・協力：NPO法人ひろしま人と樹の会  
公益財団法人 日本レスリング協会  
広島県レスリング協会  
フェニックスビジネス(株)
- ・活動内容：参加39名  
ミツマタの苗、カワズザクラやミツバツツジの植栽
- ・実施金額：319千円
- ・実施期間：令和5年3月15日

## 取組後の感想

- 【良かった点】
- ・令和3年度は新型コロナウイルスの影響があり安芸高田市立甲田中学校と連携して植栽できなかったが、令和4年度については甲田中学校と連携することができ、生徒35名、先生4名と協働で植栽することができた。
- ・植樹会を通じて、森林の大切さや維持していく上での大変さを学んでもらった。

【活動の様子】



【活動の様子】





# 地域住民と連携して活動拠点の森林を整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・一昨年から事業対象地区における林相に手を  
入れて、自然林仕立ての林相を形成してきた。引  
き続き継続することで森林経営の標本林となるよ  
うに整備する。
- ・この林地において地域の人が自然の中で共に  
働く「里山会所」として巾広く活用できるように整  
備する。
- ・安心して活動するために、安全快適なバイオ  
トイレの設置が必要になった。

## 今後の展開

- ・多彩で膨大な森林からの産品を最適な活用に  
供する。
- ・薪作りや炭焼きなど一般的な活用に加えて、間  
伐後の木の枝を粉碎し、それを畑や道にまき土  
壌改良やバイオトイレのチップや園芸用肥料に  
再利用する。それは、主として子どもたちに生き  
た森林を体験してもらう機会や遊びの機会となり、  
将来への森林理解者の育成になる。

## 取組の内容

- ・事業主体：NPO法人百華倶楽部
- ・協力：木の子倶楽部  
森のあそび場すくすく  
(有)貞尾興業、貞尾克義
- ・実施場所：安芸高田市甲田町
- ・実施量：森林整備7ha(下刈り、除伐、間伐)  
施設整備(バイオトイレの建築設置)  
林地入口の車道等の整備
- ・実施金額：4,965千円
- ・実施期間：令和4年7月～令和5年3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・間伐や歩道整備により森林活動がしやすくなっ  
た。
- ・バイオトイレが森林活動の参加者にとって気軽  
に安心して利用できるようになった。
- ・作業員や参加者の車両がこれまでより多く駐車  
できるようになった。

### 【活動の様子】



### 【整備した施設】



# 地域住民等と連携して城址周辺の森林を整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

・先祖が築城した安芸の国の田屋城を探してはるばる鎌倉から訪ねてきた老夫婦が目前にして帰られたという長老の話聞き、山城の地権者として恥じ入り、市の教育委員会にお願いして、やっと登山道入口の市道に田屋城址の縄張図の看板が立った。しかし、背文を越える草木が生い茂り、人々の進入を阻み、イノシシとシカの天国であった。

・「蘇らせる会」を結成して約1年、なんとか主郭まで安全に登れるようになり、「さとやま土師田屋城址を守る会」と名前を改め、広島工大の学生ボランティア達の支援を受けながら「花木に埋もれた自然の森」を目指して、植栽や産業廃棄物を撤去・清掃した。しかし植栽木の殆どをシカに食され、今、害獣との戦いに突入している。

## 取組の内容

- ・事業主体：さとやま土師 田屋城址を守る会
- ・実施場所：八千代町土師字大坪、大徳寺、天の岩
- ・業務委託先：いなだ工房、春布造園、NPO法人ひろしま人と樹の会、矢賀谷農機商会、緑信造園（50音順）
- ・実施量：約2ha
- ・実施金額：5,275千円
- ・実施期間：令和4年7月～令和5年3月
- ・実施内容：田屋城址の空中伐採  
登山道や階段の石造り化  
枝垂れ桜、ドウダンツツジ、芝桜の植栽と害獣防止ネットの設置

### 【活動の様子】



## 今後の展開

- ・ひき続き田屋城址の整備を行い、戦国時代の水路の復活、井戸の探索、登山道と史蹟の清掃等を継続し遊歩道を完成させ「史蹟探索と森林セラピー」フォーラムを開催する予定。
- ・登山道各所に史蹟の案内や説明版等の看板を立て、転落等の危険箇所を周知する。
- ・持続可能な事業として子供や若者を取込むため登山道に「かぶと虫の森」を整備する。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・空師による空中伐採によって田屋城址全体が遠くからも見える化された。
- ・伐採した木々を広島工大の学生ボランティア達が山から運び出して、ゴールドフォレスト社が持ち帰り、バイオマス発電に利用されたことである。
- ・天の岩県営林の遊歩道予定地に不法投棄された大量の産業廃棄物を全て撤去したことによって、より安全な森林セラピー遊歩道が可能となったことである。

### 【整備した施設】



# 地域の森林一帯を活用するため整備を行った事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・平成25年から里山林の保全管理森林資源の活用について情報を得て、林野庁山村多面的機能発揮事業で「法恩地里山を守る会」を立ち上げ活動してきた。
- ・ひろしま森づくり事業の趣旨に沿って引き続き活動し地区内を住みやすい地域にすることを目標とする。

## 取組の内容

- ・事業主体：法恩地里山を守る会
- ・実施場所：安芸高田市甲田町下小原法恩地
- ・実施量：集落沿線シカ囲い（総延長2.5km）  
簡易休憩小屋の設置  
休憩小屋進入路の整備
- ・実施金額：1,960千円
- ・実施期間：令和4年～6年

### 【活動の様子】



## 今後の展開

- ・間伐材を利用して簡易休憩小屋を設置し、地域内活動起点とする。また若者が集える活動拠点とする。

## 取組後の感想

- ・地域の森林一帯を活用するための整備が出来た。

### 【活動の様子】



# 海自幹部候補生学校との交流事業で植樹をした事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：江田島市

## 取組のきっかけ・経緯

・地元から海上自衛隊幹部候補生学校との交流事業として提案があり実施することとなった。

## 今後の展開

・引き続き実施したいとの要望がある。

## 取組の内容

- ・事業主体：古鷹フレンドシップクラブ
- ・実施場所：尾鷹の広場
- ・実施量：ソメイヨシノ苗植樹(7本)
- ・実施金額：414千円
- ・実施期間：令和4年11月～12月

### 【活動の様子】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・幹部候補生学校の学生に参加してもらい、活動を通して江田島市に貢献してもらえることができた。

### 【悪かった点】

・今後の維持管理方法等が未定である。

### 【活動の様子】



# 三高山(砲台山)の旧砲台跡周辺を整備した事例

## 事業名: 里山保全活用支援事業

## 市町名: 江田島市

### 取組のきっかけ・経緯

・三高山(砲台山)の旧砲台跡周辺の手入れをしている地元団体の活動支援を継続して行っている。

### 今後の展開

・引き続き実施したいとの要望がある。

### 取組の内容

- ・事業主体: NPO沖美町地域再生会議
- ・実施場所: 三高山山頂付近
- ・実施量: 活動3回(延17名)
- ・実施金額: 169千円
- ・実施期間: 令和4年9月～3月

#### 【活動の様子】



### 取組後の感想

#### 【良かった点】

・地元の人たちに加え、Iターン・Uターンの人たちも参加し、地域の交流の場となっている。

#### 【活動の様子】



# 森林保全ボランティアと企業との連携による取組の事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：府中町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・マツダ(株)より水分峡森林公園での地域貢献活動の申し入れがあった。
- ・そこで、森林ボランティアの「みくまりの森サポートクラブ」との連携を打診したところ、企業の地域貢献活動とボランティア団体の課題(高齢化・担い手不足)とがマッチしたため、実施することとなった。

## 今後の展開

- ・令和5年度の連携活動の予定は、年2回の共同作業とひろしま「山の日」の共催を予定している。

## 取組の内容

- ・事業主体：みくまりの森サポートクラブ  
マツダ(株)
- ・実施場所：水分峡森林公園
- ・実施内容：遊歩道の修繕
- ・実施金額：300千円
- ・実施期間：令和5年3月11日

### 【活動の様子】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・ボランティア団体の活性化につながった。
- ・企業は地域貢献をアピールすることができた。
- ・参加者にも大変好評をいただいた。
- ・公園施設の修繕も大幅に進むことが期待される。

### 【活動の様子】



# 放置里山を除伐し鳥獣被害防止に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：海田町

## 取組のきっかけ・経緯

・以前から人間の生活圏近くまで樹木が生い茂り、鳥獣の住処や隠れ家になり夜間に住宅地等に鳥獣が出没するようになっていた。

## 今後の展開

・周囲にはまだ住宅地域の近くまで樹木が迫った地域があり、今後も引き続き伐採を実施していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：海田町
- ・実施場所：海田町石原地内
- ・業務委託先：田川緑地建設株式会社
- ・業務量：0.08ha
- ・業務金額：1,573千円
- ・業務期間：令和5年1月14日～3月17日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・鳥獣の隠れ家となる森林を伐採することによって住民の居住する地域への鳥獣の侵入が減少することが期待できる。

### 【整備後】



### 【整備後】



# 荒廃した里山林の下刈り、除伐・枯損木の伐採で生活環境及び自然景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：熊野町

## 取組のきっかけ・経緯

・里山林において、手入れ不足による荒廃化や枯損木の倒木により景観が悪化するとともに、有害鳥獣が生息していることから地域住民より改善の要望があった。

## 今後の展開

・手入れ不足により荒廃化した里山林があることから、地域全体で景観の維持及び森林の保全に取り組み、平行して市街地周辺における鳥獣被害防止のためバッファゾーン整備を進めていく。

## 取組の内容

- ・事業主体：熊野町
- ・実施場所：熊野町石神、呉地地区
- ・業務委託先：広島県森林組合連合会
- ・業務量：0.64ha
- ・業務金額：3,685千円
- ・業務期間：令和4年11月1日～令和5年3月15日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・下刈り、枯損木等の処理・伐採を実施したことにより地域住民から景観が良くなったと聞いた。
- ・また、鳥獣被害防止効果により、一帯での被害が抑制された。

### 【整備後】



### 【整備後】





# 遊歩道周辺の里山林を整備した事例

## 事業名：里山林整備事業（環境改善型）

### 市町名：坂町

#### 取組のきっかけ・経緯

・都市近郊林で、気軽に山林に親しむ機会を提供し、森林浴ができる環境づくりを行うため、遊歩道周辺の里山林の除間伐、倒木整理に取り組むこととした。

#### 今後の展開

・遊歩道周辺の里山林の倒木整理や除間伐を実施し、森林の荒廃を防ぐとともに、共有の財産である森を守る意識を醸成する取組を引き続き実施する。

#### 取組の内容

- ・事業主体：坂町
- ・実施場所：坂町字梨ヶ浦（天狗岩遊歩道付近）
- ・業務委託先：安芸緑化建設株式会社
- ・業務量：1.5ha
- ・業務金額：3,270千円
- ・業務期間：令和4年10月5日～令和5年3月31日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

・瀬戸に浮かぶ美しい多島美を望みながら森林浴もできたと、山に登る方々から好評を得ており、里山林の除間伐、倒木整理を継続することで、森林の荒廃を防ぐ効果も表れており、ひろしまの森づくり県民税の使途・効果を利用者の理解に繋がられていると感じる。

##### 【悪かった点】

・イノシシ等の鳥獣被害を受けている箇所が目立つようになっており、今後の対策が必要となっている。

##### 【整備前】



##### 【整備後】



# 手入れされず放置された人工林を間伐した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：安芸太田町

## 取組のきっかけ・経緯

・森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について間伐を行った。

## 今後の展開

・本町は山林における人工林の占める割合が多いものの、近年は材価の低迷や所有者の高齢化や代替りを理由に山への関心が薄れてきており、手入れのされていない人工林が多く残っている。今後も、広報や管内森林組合等を通して所有者へ事業の利用を呼び掛けることとする。

## 取組の内容

- ・事業主体：太田川森林組合  
株式会社フロムフォレスト
- ・実施場所：安芸太田町内山林
- ・実施量：48.54ha
- ・実施金額：17,955千円
- ・実施期間：令和4年5月24日～令和5年3月27日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・うっそうとしていた林内が明るくなり、下層植生が回復することで健全な人工林の育成が期待できる。

### 【悪かった点】

・手入れがなされていない人工林はあるものの、事業要件（傾斜や保全対象からの距離）を満たさないため間伐を断念した場所がある。

### 【整備後】



### 【整備後】



# 里山林整備により景観改善及び鳥獣被害対策を行った事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：安芸太田町

## 取組のきっかけ・経緯

・安芸太田町松原地区の森林が長期間手入れがされず、景観の悪化及び有害鳥獣の温床対策として地元から要望を受けて森林整備を行った。

## 今後の展開

・今後も周囲には手入れがされていない山林があり、制度の啓発を行い、効果ある里山林整備を町内で進めていく。

## 取組の内容

- ・事業主体：太田川森林組合
- ・実施場所：安芸太田町大字松原字松原744
- ・実施量：1.05ha
- ・実施金額：1,066千円
- ・実施期間：令和4年10月31日～11月28日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・整備した事業地は観光地に接しており、景観の良くなった森林は、地域住民からも好評であった。

### 【悪かった点】

・啓発看板を設置できればよかった。

【整備後】



【整備後】



# 民有林人工林において間伐施業を行った事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・森林の公益的機能を発揮するために、植栽後40年が経過し、間伐を行う必要がある民有林人工林において、別途森林作業道を開設し、間伐施業を行った。

## 今後の展開

・今回開設した森林作業道を活用し、環境貢献林整備を継続的に実施する。

## 取組の内容

- ・事業主体：太田川森林組合
- ・実施場所：北広島町溝口字野地井
- ・実施量：3.31ha(間伐率30%)
- ・実施金額：1,093千円
- ・実施期間：令和4年11月～令和5年2月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・民有林における施業が進んでいなかったが、作業道を開設したことにより施業を進めるきっかけとなった。
- ・今後における森林整備の計画をつくることのできたため、森林所有者の意識の醸成に繋がった。

【整備前】



【整備後】



# 人工林間伐のため森林作業道を開設した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・人工林健全化による間伐施業を実施するにあたり、施業地はアクセス道がなかったため、間伐に併せて森林作業道を開設した。

## 今後の展開

・森林作業道を利用して計画的に施業を実施する。  
・開設した森林作業道は、路盤補修や定期的な支障木の除去等を実施し維持管理に努める。  
・森林所有者や集落から作業道開設の要望があるため、次年度以降も森林作業道を開設する予定。

## 取組の内容

・事業主体：太田川森林組合  
・実施場所：北広島町溝口字野地井  
・実施量：森林作業道の整備 360.6m  
・実施金額：1,673千円  
・実施期間：令和4年8月～11月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・森林作業道の開設により、作業の効率化が図られた。  
・森林作業道を適切に維持管理することにより、将来的には搬出道としての利用が見込める。

### 【開設前】



### 【開設後】



# 天然林整備で景観再生を行った事例

## 事業名：里山林整備事業（環境保全型）

### 市町名：北広島町

#### 取組のきっかけ・経緯

・北広島町豊平地区で、天然林が繁茂し景観が損なわれ、道に追い越されるような状況になっていたため、地元からの要望により整備を行った。

#### 今後の展開

・下刈り整備等を継続的に行っていききたい。また、事業の取組について他の地域にも広く周知していききたい。

#### 取組の内容

- ・事業主体：安芸北森林組合
- ・実施場所：北広島町吉木字長神
- ・実施量：2.17ha（間伐率50%）
- ・実施金額：2,759千円
- ・実施期間：令和4年6月27日～11月24日

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・景観がよくなり、見通しがよくなった。
- ・地域からの要望を受け、担当課と協議し整備に着手することができた。
- ・ほかにも天然林が繁茂している場所が存在することから、地元を含めた協議の場を設けて整備を実施したい。

##### 【悪かった点】

- ・事前に事業の周知を行いPRする取組が必要だった。

##### 【整備前】



##### 【整備後】



# 住宅街に迫る竹林を整備した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・北広島町豊平地区にある竹林は、手入れ不足の里山林に拡大を続け、里山の景観を害していた。また、道に隣接し、住宅も近いことから、地域から整備の要望が出ていた。

## 今後の展開

・管理を継続的に行っていききたい。  
・こうした事業の取組について、他の地域にも広く周知していききたい。

## 取組の内容

- ・事業主体：安芸北森林組合
- ・実施場所：北広島町都志見
- ・実施量：0.05ha
- ・実施金額：92千円
- ・実施期間：令和4年10月31日～令和5年3月27日

## 取組後の感想

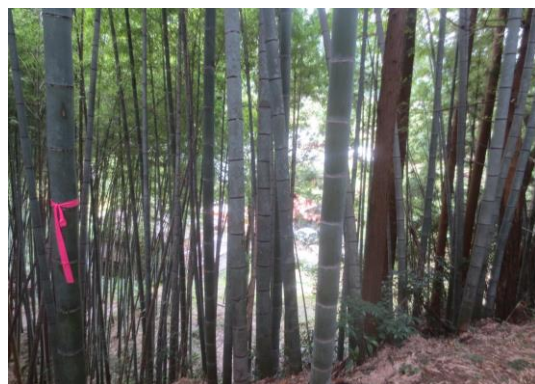
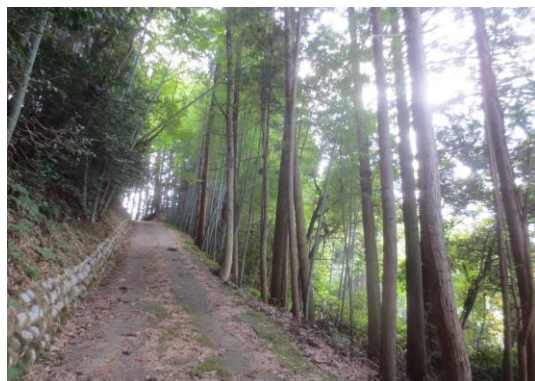
### 【良かった点】

・施業後は里山の景観・見通しも良くなり事業の成果を評価する声が寄せられた。

### 【悪かった点】

・本町における竹林整備の要望は多いが、不在地主等も多いため、事業に結びつけるまでに時間を要する。今回の整備場所も森林所有者が多く交渉に時間を要した。今後このような事例は多く発生すると思われる。

【整備前】



【整備後】



# 古保利薬師周辺林の整備を行った事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・北広島町の歴史や文化の発信拠点とされている古保利地区には、国の重要文化財指定の仏像が安置されているため、多くの来訪者がいる。
- ・近年、参道は薄暗く路面が荒れており、施設周辺には樹木が生い茂っているため、森林整備・森林保全活動に取り組んだ。

## 今後の展開

- ・歴史的観光施設としての紹介や、路網の整備、住民等による植栽作業、自然体験活動などの活動に取り組みたい。

## 取組の内容

- ・事業主体：八重東地区振興会
- ・実施場所：北広島町古保利
- ・実施量：森林整備 2.00ha  
参道の整備 100m  
花の小径勉強会 1回
- ・実施金額：6,000千円
- ・実施期間：令和4年8月～令和5年3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・地域の財産・観光資源としての価値が高い周辺施設の森林間伐整備を実施したことで評価する意見が寄せられた。
- ・間伐・樹林整備と合わせて参道の整備をしたことにより、周辺施設利用者の安全と利便性を確保することができた。

### 【森林整備後】



### 【参道整備後】





# 自然体験活動の場を整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・自然体験活動の場として整備された下山地区だが、年月の経過による施設の老朽化や山村地域の人口減少により、森林整備などの関心が薄れている。広場及び周辺林の整備を図ることで、健全な森林の再生と観光交流資源、憩いの場としての魅力発信を推進していくため、広場一帯の整備を行った。

## 今後の展開

・約80haと広大な面積を誇ることから、天然林の間伐整備、人工林の間伐体験を通じ環境整備や木質バイオマスの普及に努める。

## 取組の内容

- ・事業主体：NPO法人西中国山地自然史研究会
- ・実施場所：北広島町川小田下山
- ・実施量：森林整備 3.07ha  
歩道の整備 830m  
休憩施設整備 2棟  
体験活動 1回
- ・実施金額：10,618千円
- ・実施期間：令和4年8月～令和5年3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・町内のNPOと連携し、森を感じるワークショップを実施し、森林資源を活用することで、森を身近に感じ生物の多様性や生態等の学びを深めることが出来た。
- ・森林整備・歩道整備等により施設周辺の環境整備に繋がった。

### 【整備後】



### 【整備後】



# 雲月山の自然再生に取り組んだ事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・雲月山はなだらかな山肌が広がる特徴的な芝山で、独特な景観美と草原特有の生態系を有し、多くの動植物が生息する。農耕文化の変貌と時代の変化により草原としての機能が衰退し林地化が進行してきたため、地元の保全団体と共に自然再生に取り組んでいる。

## 今後の展開

・地域資源である雲月山の森林化に歯止めをかけ、草原の再生、生態系の保全に努めるべく、引き続き、自然再生に取り組む意義を考えながら、自然観察会や、山焼きや森林整備といった保全活動を計画的に実施していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：雲月山活性化委員会
- ・実施場所：北広島町土橋 雲月山
- ・実施量：森林整備 7.98ha  
遊歩道木橋修繕 10m  
森林保全活動 1回  
施設整備標識 一式
- ・実施金額：8,000千円
- ・実施期間：令和4年6月～令和5年3月

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・地元保全団体、地域住民を主体として事業に取り組んだことにより、地域資源の再生活動や保全への意識の醸成に繋がった。
- ・遊歩道の草刈り、支障木の伐採、木橋の修繕等を行い、観光客が利用しやすい環境を整えた。

【整備前】



【整備後】



# 森林整備により地域資源周辺の環境を改善した事例

事業名：里山林整備事業（防災・減災型）

市町名：大崎上島町

## 取組のきっかけ・経緯

・手入れがされていなかったことで、日光が入りにくく、倒木発生の恐れがある森林を整備してもらいたいと地域住民から要望があった。

## 今後の展開

・他地区でも里山林整備事業を活用できる箇所を把握するために、広報等を活用しながら周知していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：大崎上島町
- ・実施場所：大崎上島町東野
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.30ha
- ・業務金額：1,998千円
- ・業務期間：令和4年12月21日～令和5年3月23日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・手入れがなされず放置されていたことで危険であり日当たりも悪かったが、森林整備を行うことで、日当たりが良くなり倒木の危険性も軽減することができた。

### 【悪かった点】

・事業の認知度がまだ低いので、広報などで周知を行う必要がある。

【整備前】



【整備後】



# 植樹後の植栽木を管理する活動を行った事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：大崎上島町

## 取組のきっかけ・経緯

・大崎上島町の森づくり推進協議会にて「植樹だけでなく植樹後の剪定といった管理も大切なのではないか。」という意見があり、植樹した箇所や施設の緑地帯等での植栽整活動を行っている。

## 今後の展開

・植栽整備活動の参加者を増やすために広報等を活用しながら周知を進めていく。

## 取組の内容

- ・事業主体：大崎上島町
- ・実施場所：大崎上島町沖浦
- ・参加者数：15人
- ・実施金額：829千円
- ・実施期間：令和5年3月3日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・植栽整備活動を行うことで、植樹等を行った後の管理の大切さを意識していただく機会になった。
- ・植栽整備活動を実施した箇所の景観が良くなり、今後の手入れもしやすくなった。

### 【悪かった点】

- ・参加者が少なく、一人あたりの作業量が増えてしまった。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 人工林の公益的機能回復に取り組んだ事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・町内に森林を所有されている方からの要望や、町広報誌による施業箇所の募集を行い、人工林について整備を実施することとした。

## 今後の展開

・近年の集中豪雨の状況に鑑み、今後も、長年手入れのされていない人工林の整備を進め、森林の持つ公益的機能の発揮を目指す。

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅郡森林組合
- ・実施場所：町内39箇所
- ・実施量：17.81ha
- ・実施金額：7,4867千円
- ・実施期間：令和4年6月4日～令和5年3月20日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

・町広報誌へ施業箇所の募集を掲載したことにより、事業要望だけではなく、自らが所有する山林について関心を持たれた方からの問い合わせが多くあった。

### 【整備前】



### 【整備後】



# 荒れた里山の景観保全に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・松枯れ被害が多く、尚且つ事業効果を見込める、世羅町内の主要道路であるフルーツロードと県道56号線が交わる交差点付近の里山林の整備について、補助を行った。

## 今後の展開

・町内では依然として松枯れ被害が多いため、特に主要道路を要件としながら事業の申請を募り、健全な里山林へと誘導していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅郡森林組合
- ・実施場所：世羅町大字徳市・安田地区
- ・実施量：森林整備4.94ha  
森林調査2.98ha
- ・実施金額：8,778千円
- ・実施期間：令和4年12月22日～令和5年3月31日

### 【整備後】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・景観保全だけでなく、鳥獣の棲み処となりにくい山へと整備することができた。

### 【整備後】



# 歴史的文化的文化財と森林が織りなす景観を保全した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は歴史的文化的文化財が多く存在する森林であり、林内には「いこいの森」や「遊歩道」・「展望台」などが整備され、多くの人々が訪れる場所となっている。しかし近年、小径木が密生し、林内が薄暗くなっている。そこで、甲山史跡・名所伝承保全会が計画を作成し、景観の保全に努め、より多くの人々が自然に親しめる環境を整えるため、本事業に取り組むこととした。

## 取組の内容

- ・事業主体：甲山史跡・名所伝承保全会
- ・実施場所：世羅町大字甲山地区
- ・実施量：16.81ha
- ・実施総額：43,028千円（5か年計）
- ・実施期間：平成30年度～令和4年度

### 【整備後】



## 今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・今高野山開基1,200年を迎えるにあたり、事業地を活用した体験活動を実施し、事業PR活動を推進していく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・林内に設置されている休憩小屋周辺の森林整備を実施したことにより、林内に日が差し込み、山へ入りやすい環境を整えることができた。
- ・遊歩道を整備し、案内看板や、ベンチを作成・設置して事業のPRを行うことができた。

### 【整備後】



### 【活動の様子】



# 希少植物が自生する山林の保全を行った事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地は町花であるスズランが自生する森林であり、林内には、登山道が整備され、多くの人が訪れる場所となっている。しかし近年では、倒木の発生や登山道の洗堀などが見受けられる。そこで、君影会が計画を作成し、希少植物の保護に努め、保護活動を通じた地域づくりの活動と情報の発信を図るため、本事業に取り組むこととした。

## 取組の内容

- ・事業主体：君影会
- ・実施場所：世羅町大字青近地区
- ・実施量：6.8ha
- ・実施総額：28,122千円（3か年計）
- ・実施期間：令和2年度～令和4年度



設置看板



設置看板

## 今後の展開

- ・引き続き、君影会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・登山道沿いの森林整備を進め、日が差し込む明るい山へと変えていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・急斜面の枯損木整備を行ったことで、山林内に光が入るようになった。
- ・看板を設置したことで事業のPRを行うことができた。

### 【悪かった点】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により体験活動を実施することができなかった。



整備後



自生スズラン



# 歴史的建造物を取り囲む社叢の保全を行った事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・事業実施地区は町史跡に指定される茶臼城跡地周辺の森林であり、林内には、鎌倉時代からの歴史的建造物が多数存在する。しかし近年では、竹林が繁茂し、林内が日中でも薄暗い状態となっている。そこで、茶臼山保全会が計画を作成し、地域のシンボリック存在の茶臼山を整備し、地域の活性化を図るため、本事業に取り組むこととした。

## 取組の内容

- ・事業主体：茶臼山保全会
- ・実施場所：世羅町大字下津田地区
- ・実施量：森林整備6ha  
遊歩道433m
- ・実施総額：20,650千円（3か年計）
- ・実施期間：令和2年度～令和4年度



整備後



整備後

## 今後の展開

- ・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。
- ・竹林が再び繁茂しないよう、地域住民等で除去を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・侵入竹の除去を重点的に行ったため、景観の保全と、山へ入りやすい環境を整えることができた。
- ・東屋など利用促進施設を整備することができた。

### 【悪かった点】

- ・駐車場が無いので、整備作業等で資機材を運ぶのが不便だった。



活動の様子



東屋

# 希少植物が自生する湿地周辺の山林を保全した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・本計画実施地は、国及び県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている、ヤチシャジンが自生している湿地を含む森林である。しかし、湿地近くの山林は、山林所有者の高齢化が進み手入れ不足となっている。そのため、これまで湿地周辺の保全活動を続けてきた「世羅の自然をまもる会」が主体となって景観の保全や水源かん養機能の回復を図るため、本事業に取り組むこととした。

## 今後の展開

・引き続き世羅の自然をまもる会が主体となって、湿地周辺の森林整備や希少植物の保護活動を行う。  
・湿地上流から下流にかけて一体的に整備していく。

## 取組の内容

- ・事業主体：世羅の自然をまもる会
- ・実施場所：世羅町大字小世良地区
- ・実施量：1.95ha
- ・実施総額：9,117千円（2か年計）
- ・実施期間：令和3年度～令和4年度

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・湿地周辺の森林整備を行ったことにより、日光を遮る物がなくなり、希少植物の保全に繋げることができた。
- ・昨年の反省を生かしてベンチを設置し、利用者の利便性向上を図った。



活動の様子



ヤチシャジン



【整備したベンチ】

# 土砂災害から地域を守るため森林整備をした事例

事業名：特認事業（里山防災林整備事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・本事業地は、平成22年7月豪雨によって死者1名、負傷者1名、家屋の一部損壊が2棟という甚大な被害を受けた地区である。
- ・当該地は、林地荒廃（松枯れ）による倒木等により、本来の溪間と違う場所にも土砂が流出し、被害が拡大した経緯があり、森林整備が必須であることから、里山防災林整備事業によって事業を実施する運びとなった。

## 今後の展開

- ・川尻下地区里山防災会で、連携していくことで、地域全体で防災についての理解を深める。

## 取組の内容

- ・事業主体：川尻下地区里山防災会
- ・実施場所：世羅町大字川尻地区
- ・実施量：森林整備0.75ha  
森林調査12ha
- ・実施金額：6,654千円
- ・実施期間：令和4年度

### 【整備前】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・松枯れによって荒れていた林内を整備したことによって、土砂災害の危険性を軽減できた。

### 【悪かった点】

- ・今年度は一部分だけの整備にとどまった。危険性低減のためにも整備区域を広める必要がある。

### 【整備後】



# 農地を鳥獣被害から守るため森林整備をした事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・甲山地区では近年鳥獣被害が増加している。田畑の周囲に電気柵やメッシュ柵を設置する等対策をとっているが、有害鳥獣の隠れ場所になるような里山林に接しているため、その効果を十分に発揮できていない。鳥獣被害対策の効果を最大限に発揮させるため、整備を行うこととなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：甲山地区検討部会  
（甲山史跡・名所伝承保全会）
- ・実施場所：世羅町大字甲山地区
- ・実施量：森林整備2.31ha
- ・実施金額：6,600千円
- ・実施期間：令和4年度

【整備前】（上：イノシシが穴を掘った跡）



## 今後の展開

・引き続き甲山地区検討部会で、連携していくことで、被害の状況や効果的な施業方法を話し合い、効果的な対策を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯損木が繁茂していた林内に光が差し込み見通しが良くなった。
- ・検討部会を開催し、専門家等の話を聞いたことで、効果的な施業方法を話し合うことができた。

### 【検討部会の様子】



### 【整備後】



# 農地を鳥獣被害から守るための森林整備を行った事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・青近地区では近年鳥獣被害が増加している。田畑の周囲に電気柵やメッシュ柵を設置する等対策をとっているが、有害鳥獣の隠れ場所になるような里山林に接しているため、その効果を十分に発揮できていない。鳥獣被害対策の効果を最大限に発揮させるため、整備を行うこととなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：青近地区検討部会（君影会）
- ・実施場所：世羅町大字青近地区
- ・実施量：森林整備2.39ha
- ・実施金額：9,130千円
- ・実施期間：令和4年度

【整備前】



【整備後】



## 今後の展開

・引き続き青近地区検討部会で、連携していくことで、被害の状況や効果的な施業方法を話し合い、効果的な対策を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯損木が繁茂していた林内に光が差し込み見通しが良くなった。
- ・同様の課題を抱える他3地区と合同で検討部会を開催し、専門家等の話を聞いたことで、効果的な施業方法を話し合うことができた。

【検討部会の様子】



【整備後】見通しが良くなりました。



# 農地を鳥獣被害から守るための森林整備を行った事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・下津田地区では近年鳥獣被害が増加している。田畑の周囲に電気柵やメッシュ柵を設置する等対策をとっているが、有害鳥獣の隠れ場所になるような里山林に接しているため、その効果を十分に発揮できていない。また、サギのコロニーも形成されており、対策が必要との声が上がった。そこで、鳥獣被害対策の効果を最大限に発揮させるため、整備を行うこととなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：下津田地区検討部会（茶臼山保全会）
- ・実施場所：世羅町大字下津田地区
- ・実施量：1.57ha
- ・実施金額：7,425千円
- ・実施期間：令和4年度

### 【整備前】



### 【整備後】



## 今後の展開

・引き続き下津田地区検討部会で、連携していくことで、被害の状況や効果的な施業方法を話し合い、効果的な対策を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯損木が繁茂していた林内に光が差し込み見通しが良くなった。
- ・同様の課題を抱える他3地区と合同で検討部会を開催し、専門家等の話を聞いたことで、効果的な施業方法を話し合うことができた。

### 【検討部会の様子】



### 【整備後】サギのコロニーの竹林を伐採



# 農地を鳥獣被害から守るための森林整備を行った事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

・小世良地区では近年鳥獣被害が増加している。田畑の周囲に電気柵やメッシュ柵を設置する等対策をとっているが、有害鳥獣の隠れ場所になるような里山林に接しているため、その効果を十分に発揮できていない。また、サギのコロニーも形成されているので対策が必要という声が上がった。鳥獣被害対策の効果を最大限に発揮させるため、整備を行うこととなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：小世良地区検討部会  
（時森迫谷地区里山保存会）
- ・実施場所：世羅町大字小世良地区
- ・実施量：2.24ha
- ・実施金額：5,333千円
- ・実施期間：令和4年度

【整備前】



【整備後】



## 今後の展開

・引き続き小世良地区検討部会で、連携していくことで、被害の状況や効果的な施業方法を話し合い、効果的な対策を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯損木が繁茂していた林内に光が差し込み見通しが良くなった。
- ・同様の課題を抱える他3地区と合同で検討部会を開催し、専門家等の話を聞いたことで、効果的な施業方法を話し合うことができた。

【検討部会の様子】



【整備後】見通しが良くなりました。



# 歴史的・文化的資源周辺の森林を整備した事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・事業実施区域は枯木八幡神社・野原八幡神社・観音寺広場周辺の森林である。現在まで観音寺広場は地域行事を実施する場として利用されている。
- ・周辺の森林は、高齢化により荒れ続け放置されたままであり、土砂災害危険区域に指定されている箇所もあるため、森林の公益機能の維持増進を図る必要がある。
- ・そのため、津口森づくりの会が主体となって景観の保全や山地災害防止機能の指揮を図ることとなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：津口森づくりの会
- ・実施場所：世羅町大字津口地区
- ・実施量：0.46ha
- ・実施金額：9,340千円
- ・実施期間：令和4年度

【整備前】



【整備後】



## 今後の展開

- ・今後も津口森づくりの会が中心となって、野原八幡神社・枯木八幡神社・観音寺広場それぞれの箇所に近接している地域住民が集まり、寺や神社の維持管理と併せ、清掃活動等、森林保全活動を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯木八幡神社広場周辺の森林整備を行ったことにより、景観の保全と神社へ迫っていた危険木を撤去することができた。
- ・検討部会を開き、専門家も交えて津口地区の歴史や神社を守っていくことの重要性を再認識できた。

### 【検討部会の様子】



### 【活動の様子】





# 民有林において間伐施業を実施した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：神石高原町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・人工林を管理する必要性を知っていたが、定期的な手入れが出来ていないため、林内が暗くなっていた。
- ・森づくり事業を利用して、間伐を行い作業道作設をした。

## 今後の展開

- ・作業道を活用し、定期的に森林を管理する。

## 取組の内容

- ・事業主体：山林所有者
- ・実施場所：神石高原町田頭
- ・実施量：間伐面積0.76ha  
作業道延長270m
- ・実施金額：699千円
- ・実施期間：令和4年9月～11月

## 取組後の感想

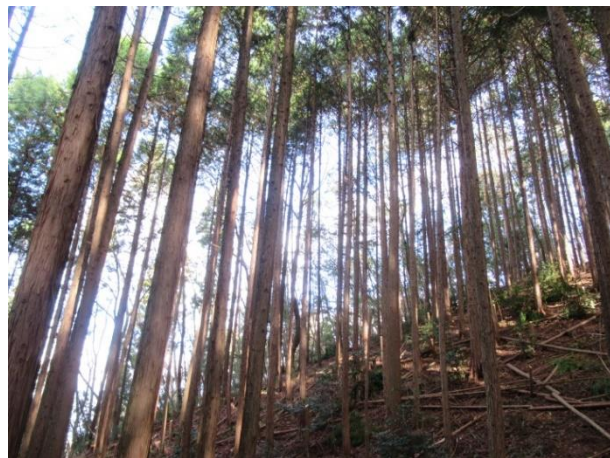
### 【良かった点】

- ・森林に入りやすくなり、今後の管理に役立った。
- ・森林内が明るくなり、良質な木の成長が期待できる。

【整備後】森の中に陽光が入りました！



【整備後】整然と並んだ美しい人工林です。



# 耕作地周辺の雑木山を伐採した事例

## 事業名：里山林整備事業（環境改善型）

### 市町名：神石高原町

#### 取組のきっかけ・経緯

・耕作地のそばにある小山に雑木が茂ってしまい、集落や耕作地周辺の景観に暗い印象を与えていた。

#### 今後の展開

・管理しやすくなったため、定期的に雑木の伐採などの維持管理に努める。  
・集落にも近く、周辺環境が明るくなり、周辺の景観が改善された。

#### 取組の内容

- ・事業主体：山林所有者
- ・実施場所：神石高原町小畠
- ・業務委託先：神石郡森林組合
- ・業務量：0.42ha
- ・業務金額：1,240千円
- ・業務期間：令和4年10月～令和5年2月

【整備前】  
視界の妨げにもなり、周辺が暗くなっていました。



#### 取組後の感想

【良かった点】  
・整備をきっかけとして、集落として周辺の森林整備を広域的、一体的に取り組むことを考える機会となった。

【整備後】  
伐採により、耕作地周辺も明るくなりました！



# 鳥獣被害防止のため雑木林を整備した事例

## 事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

### 市町名：神石高原町

#### 取組のきっかけ・経緯

- ・耕作地に隣接した雑木林が鳥獣の住処となっており、法面の掘り起こし等によって荒らされていた。
- ・急斜面で範囲も広いいため、手入れができない状態であった。

#### 今後の展開

- ・管理しやすくなったため、定期的に下刈りなどを行い、野生鳥獣の住処になることを防ぐ。
- ・今後も環境の維持管理をする。

#### 取組の内容

- ・事業主体：山林所有者
- ・実施場所：神石高原町福永
- ・業務委託先：株式会社イトー
- ・業務量：0.39ha
- ・業務金額：1,705千円
- ・業務期間：令和4年11月～令和5年1月

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・耕作地に接した雑木林が見通しがよくなったことで、鳥獣の住処になりにくい環境になったため、農作物が鳥獣被害から守られることが期待される。

【整備後】雑木林が見通しよくなりました！



【整備後】有害鳥獣が隠れにくくなりました！

